

仙北市新型コロナウイルスワクチン接種推進本部から

お知らせ

☎ 仙北市新型コロナウイルスワクチン接種推進室 ☎ 43-3305

第4クール1回目の接種は10月9日で終了します！

最後の集団接種となる第4クールの接種が順調に進んでいます。第4クールの1回目の接種は、10月9日(土)までとなっています。予約されている方は会場、日時を確認のうえ、必ず接種をしてください。第4クールの2回目の接種は10月10日(日)から30日(土)までです。こちらも体調管理に注意して、1回目と同じ会場、日時で受けるようにお願いします。

予約枠に多少余裕があります！

まだ予約されていない方は、LINE・申し込みサイトでの予約は10月5日(木)まで、コールセンターでの予約は10月6日(金)まで、それぞれ受付しますので、ぜひ予約されるようにお願いします。12歳から15歳の方についても、10月6日(金)までコールセンターで予約を受付けます。

予約方法

10月5日まで LINE・申し込みサイトから
仙北市ホームページ (https://www.city.semboku.akita.jp/citizens/coronawakuchin_yoyaku.html) にアクセスしてください。

スマホなどお持ちの方はこちらから▶▶

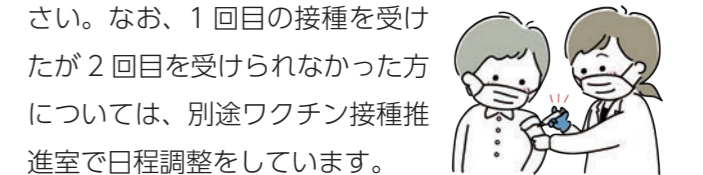


10月6日まで 電話から
仙北市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンターへ
☎ 0570-038899
(土・日曜日、祝日を除く 9:00 から 17:00)

ファイザー製ワクチンの有効性は？

仙北市で使用しているファイザー製のワクチンは、発症予防効果は100%ではありませんが、感染してもほとんどの人が軽症で、重症化する人はきわめて少ないとされています。また、今問題となっている変異株についても、イギリスの公衆衛生庁が公表した研究結果によると、ファイザー製ワクチンを実際に接種した後の発症予防効果の有効率はアルファ株で約94%、デルタ株で約88%、デルタ株による入院を予防する効果は約96%と報告されています(以上は厚生労働省のホームページの情報です)。

このようにコロナワクチンの有効性は、明らかになっていますが、ネット上では、ワクチンを接種すると「遺伝子が組み替えられる」「不妊や流産の原因になる」「周りの人に健康被害が出る」などの根拠のないデマによる情報がさまざまな媒体で拡散しており、ワクチンデマとして世界中で問題になっています。どうか根拠のない情報に惑わされることなく、コロナワクチンの有効性を正しくご理解いただき、コロナ禍を乗り切りたいと思います。



市長のまちづくり No.184 ー最終回ー 日記

『心を一つに』

仙北市長 門脇 光浩

仙北市内での新型コロナウイルスの感染者は、累計で50人を超えたと推計しています。推計…、何だか他人事のような言い回しで恐縮です。しかし、感染症法や地域保健法などのルールがあつて、実数把握は新型コロナウイルス感染症の発生届を受理する保健所しか分かりません。ニュースでは、「今日の感染者数は、秋田県と秋田市で〇人…」と流れますが、保健所を持っている秋田県と秋田市だからできる発表です。

誰が感染しても不思議ではない状況でした。この危機的状況は人数で伝える力になると考えました。この対応に大仙市の老松博行市長、美郷町の松田知己町長が賛成してくれました。3市町しかない大仙保健所管内です。仙北市が例え推計人数でも公表すれば、必ず大仙市や美郷町にシワ寄せがあるだろうことを予測しながら、それでも2人は仙北市の現状改善になればと後押ししてくれました。おかげで、その後の市民対応力はさらに高まり、現在なんとか市内感染を断ち切れそうな現状です。

誰もが感染対策などは自治体単独で完結できません。市町村を越えた相互の気遣いが大切です。仮に他市町村で起こっている感染事案を耳にしても、噂話や誹謗中傷の対象にしてはいけません。ましてや同じ地域で暮らす者同士、悪口を言い合うなんて愚の骨頂です。新型コロナウイルス感染症に限らず、辛いときこそ心を一つに、手を取り合って乗り越えるのです。

※連載した日記の筆をおきます。長くお読みいただきありがとうございます。

このような中、市の新型コロナウイルス対策本部は、人権に配慮しながら様々な情報の収集と分析を行い、仙北市民の感染者数を独自推計して公表することにしました。8月中旬は市内で毎日複数人数の感染者が出るなど、

※連載した日記の筆をおきます。長くお読みいただきありがとうございます。

みんなで取り組む ESG エスディーゼーズ SDGs vol.14



これ!

8 働きがいも経済成長も
SDGs 目標8 **働きがいも経済成長も**
日々お仕事をされている方々に向けて、今回のテーマは「働きがい」です。あなたの職場の勤務環境は快適ですか？改善点はありませんか？
将来一緒に仕事をする若者や障がいの有無に関わらずすべての人々が「働きがい」を持てる職場にすることは、企業などの成長、ひいては地域経済の活性化につながる取組とも言えます。
問題になっていること
▶若い人の失業率が高いこと
▶長時間労働による過労死やブラック企業の存在

私たちにできること

- ▶残業を強いられず、休暇を取得しやすい職場づくり。
- ▶自分を含め、一緒に働く人々の働きやすさ、改善点を考える。

